

泉の自治だより

題字は県会議員 岡田 脩先生

№ 40

発行所 泉自治区連合会
発行責任者 連 区 長
事務局(泉公民館内)
土岐市泉町中窪町
TEL. 55-3653
編集委員長 甲川清治

土岐市民憲章
一、自然を愛し、美しい土岐市をつくりましょう。
一、きまわりを守り、明るい土岐市をつくりましょう。
一、健康を働き、豊かな土岐市をつくりましょう。
一、教養を高め、伸びゆく土岐市をつくりましょう。
一、力を合わせ、住みよい土岐市をつくりましょう。

平成9年度 泉町各界代表者の方々です。(順不同)



泉町久尻区長
中嶋 則夫



泉町駅前区長
加藤 保典



泉町大富区長
初川 幸明



泉町定林寺区長
沢田 修



泉町河合区長
伊藤 英夫



泉町連合区会計
早川 昭次



泉町連合区庶務
水野 莊治



泉町連合区長会長
田中 重雄



土岐市議会議員
久米 要次



土岐市議会議員
金津 保



土岐市議会議員
南 孝司



土岐市議会議員
佐々木 武彦



土岐市議会議員
矢島 成剛



土岐市議会議員
梶間 登志夫



土岐市議会議員
和田 全弘



泉公民館
館長 加藤 清司



ゆう泉会
会長 沢田 隼雄



泉町青少年育成会
会長 田中 久元



泉町遺族会
会長 須田 信之



泉町体育協会
会長 加藤 忠良



泉町婦人会
会長 水野 家子



泉西小学校PTA
会長 後藤 雅之



泉小学校PTA
会長 加藤 文雄



泉中学校PTA
会長 石黒 信彦



土岐市消防団泉分団
分団長 林 敬一郎



泉町農事改良組合
会長 今井 善正



土岐津陶磁器上絵加工業組合
理事長 田中 勝英



土岐市輸出陶磁器完成組
理事長 中嶋 健治



泉陶磁器卸商業組合
理事長 大野 愛藏



泉陶磁器工業協同組合
理事長 山口 正孝

愛するわが町のために

泉町連合区長会長 田中 重雄

このところ珍しく気温の低い雨模様が続く、冷夏を予測させるような毎日ですが、泉町の皆さんには、如何お過ごしでしょうか。

私のこのたび泉町連合区長会長の大役を拜命し、四月・五月と、会議や行事参加で多忙を極めておりますが、沢山の方達のお話をお伺いして、改めてその職責の重大さを痛感しております。

さて、私は長らく泉町を離れていましたので、顔見知りの方が少ないのですが、泉中窪町(昔は三ノ輪と言いました)で生まれた生粋の泉っ子です。先祖代々住み継いだ土地で、泉町を愛する気持ちもまた一入です。

泉町は、曾つての四つの村が合併して出来た町です。河合は渡し場のあった交通の要所、定林寺は大伽藍を擁し、八大寺院の一つに数えられた寺の境内、大富は石高が近辺一番で、土岐源氏の館のあった所、久尻は焼き物が古くから発達していた美濃焼発祥の地です。

このような素晴らしい我が郷土は、古墳時代に既に開けていた先進地帯でした。現在でも、土岐市の中では都市化の最先端を行く活気のある町で、その人口は二万一千人と最大です。

都市化が進むと、様々な現象が表われます。またインフォーマルな結合が弱くなります。私の住んでいる泉中窪町辺りは子供の頃には家も疎らで、狐が鶏を襲ったりしました。農繁期にはお互いに助け合ったり、風呂に呼ばれたりして、インフォーマルな結合は大変強かったものです。それが今では東窪町、中窪町、西窪町と分かれる程住宅が増え、誰が住んでいるのか判らない有様です。

次に、同質性の減少とともに、地域生活上の共通性が失われます。そして、異質化に対応して種々の単一機能集団の形成が進むと言われます。

ルな集団への所属が減少します。

都市化は、このような現象を通して自治会活動に影響を与えます。しかし異質性の増大とか、生活の広域化とか言っても、その根底にある地域環境の共通性は失われません。また、子供や家庭の主婦、高齢者等では、身近な日常的生活圏への依存度が大きく、ローカルな集団の機能が重要さが増加します。通勤・通学者層でも、週休二日制の普及や、休日の増加等で、地域で家族と過ごす時間が多くなってきました。

そこで、地域住民の生活に密接に関係する機能例えば、環境を整備したり、火災や交通事故から守る手段を講じたり、運動会や祭などを通じて親睦を計ったり、地域福祉や地域文化、社会教育を推進したりする機能がクローズアップされます。

自治会活動は、まさにここに原点を置く極めて身近な地域活動であります。それを積み重ねることによって、伝統ある泉町を守り、維持し、発展させ、明るい、住みよい町として、子や孫に伝えて行くことが出来るのです。

私も、泉町に住み、泉町を愛する一員として、微力ながら、精一杯自治会活動を推進させて頂きますので、皆様の温かい御支援・御協力を賜りますよう、心からお願ひ申し上げます。

私が郷土は、古墳時代に既に開けていた先進地帯でした。現在でも、土岐市の中では都市化の最先端を行く活気のある町で、その人口は二万一千人と最大です。

都市化が進むと、様々な現象が表われます。またインフォーマルな結合が弱くなります。私の住んでいる泉中窪町辺りは子供の頃には家も疎らで、狐が鶏を襲ったりしました。農繁期にはお互いに助け合ったり、風呂に呼ばれたりして、インフォーマルな結合は大変強かったものです。それが今では東窪町、中窪町、西窪町と分かれる程住宅が増え、誰が住んでいるのか判らない有様です。

生活を面白くするMYCALカード

サティのカードはすぐ使えるカードです。

お申込みはカンタン

●3F/サービスコーナー又は特設カウンターで
生活百貨店



SATY
土岐サティ

会 員
募 集 中

土岐市泉町久尻42-11 TEL 0572-55-5011

毎 日 が 新 鮮



DO YOUR SHOPPING HERE PLEASURELY
TOKI SHUFU NO MISE

主婦の店 土岐店グループ

※主婦の店土岐店 ※サンマート ※エー・エス・シー(A.S.C)



主婦の店

いい人・いい街・いい暮らし

平成9年度 泉町連合区長会

役職	氏名
会長	田中重雄
副会長	加藤保典
〃	伊藤英夫
〃	沢田修

役職	氏名
副会長	初川幸明
〃	中嶋則夫
庶務	水野荘治
会計	早川昭次

	町内数	班数	加入世帯数	全世帯
泉町	63	505	5,512	6,601

定林寺区区長会

役職名	氏名
区長	沢田修
副区長	水野雅一
会計	高木功一

定林寺区町内会

町名	町内会長氏名	班数	加入世帯数	全世帯
東	水野陽三	6	68	80
記念	佐賀弘道	4	28	29
本郷	和田満夫	5	49	54
土居	木戸千年	7	61	72
中川	島崎和夫	5	47	55
宮前1	藤岡英機	7	83	105
宮前2	鈴木利明	4	61	71
宮前3	戸田良幸	2	18	19
原	水野明夫	7	86	96
合計	9町内	47	501	581

大富区区長会

役職名	氏名
区長	初川幸明
副区長	倉田武衛
〃	水野荘治
会計	田中靖彦

大富区町内会

町名	町内会長氏名	班数	加入世帯数	全世帯
東	安井哲彦	13	154	281
北山	佐藤昭二	5	60	43
中	加納達雄	12	118	170
西第1	山本正善	11	129	161
西第2	吉田秀行	11	114	123
仲	岩井勝春	4	43	44
大徳	野々村弥寿夫	9	120	148
梅ノ木	吉岡重則	6	68	81
神栄	揖斐靖夫	12	144	179
島田	生駒昭吉	6	73	123
森下	虎沢重美	4	37	54
寺島	山村孝夫	12	134	149
東上	水野俊典	9	97	157
西上	安藤元吉	5	65	65
主税	岩井重弘	9	92	113
大和	野村勲	8	81	102
報徳	伊藤元男	10	142	158
平和	川本鈴義	7	85	95
伊野川	千代忠秀	4	38	50
合計	19町内会	157	1,794	2,296

河合区区長会

役職名	氏名
区長	伊藤英夫
副区長	鬼頭文昭
会計	永井省吾

河合区町内会

町名	町内会長氏名	班数	加入世帯数	全世帯
賤ヶ洞	高橋悟	1	11	11
上	尾野高男	4	43	56
中野	額 額 一二三	7	79	96
岩野	安藤正博	6	88	162
山手	加藤馨	6	77	92
合計	5町内	24	298	417

駅前区区長会

役職名	氏名
区長	加藤保典
副区長	加藤恒之
〃	篠原利市
副区長(会計)	土本勇夫

駅前区町内会

町名	町内会長氏名	班数	加入世帯数	全世帯
新土岐津東	篠原利市	5	55	59
新土岐津西	鈴木秀吉	9	82	103
西本1	古林正雄	3	29	35
西本2	平井康之	7	76	87
西本3	佐藤猛	3	40	39
更生1	加藤恒之	7+3	86	158
更生2	加藤智教	4	49	45
中央	亀谷庚吾	6	76	73
本	佐々木善浩	5	70	35
東本	土本善久	7+1	76	61
合計	10町内	60	639	695

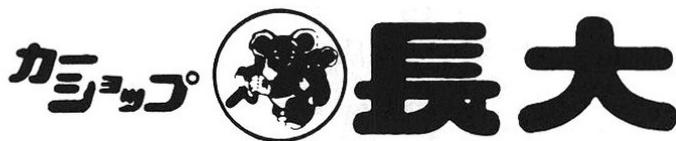
久尻区区長会

役職名	氏名
区長	中嶋則夫
副区長	早川昭次
〃	香川成行
副区長(会計)	鈴木勝利

久尻区町内会

町名	町内会長氏名	班数	加入世帯数	全世帯
緑ヶ丘	千村益生	13	133	172
緑ヶ丘東	原口進	5	61	61
日之出	水野兼幸	16	169	196
明治	土本英夫	11	116	150
郷	林茂	8	87	116
岩畑	森幸輝	10	100	157
大坪1	川上太郎	11	108	136
大坪2	加藤茂和	12	122	156
寺下1	林里美	18	173	208
寺下2	小栗定男	7	63	102
寺上	水野豊市	5	28	30
五斗蒔	篠原幸次	7	65	82
五斗蒔東	尾関貞則	7	67	66
五斗蒔西	高橋俊光	8	67	56
泉が丘1	村上信行	12	167	167
泉が丘2	小栗雅雄	10	150	156
泉が丘3	本田謙二郎	28	245	234
泉が丘4	中山義信	9	106	106
泉が丘5	松尾建二	10	130	137
泉が丘6	小椋末男	10	123	124
合計	20町内会	217	2,280	2,612

よって長大！ みて長大！ かって長大！



営業時間

AM 9:30
PM 9:00

土岐市泉神栄町2丁目62
TEL 55-1844

——安心出来るご葬儀を——

名陸自認可 霊柩車事業・通産省認可 全葬連加盟店

総合葬祭  やまと葬祭

●JR共済組合指定 ●電気通信共済会指定 ●郵政弘済会指定

土岐市泉岩畑町2-59(駅ウラ)

☎(0572) 54-3421
54-8378
FAX 55-0124

自治会女性部への道

平成10年度発足を目指して

今の姿

泉の自治だより三九号（平成九年三月発行）で、泉連合区長会長加藤清司氏が「一年を顧みて」の反省の中で、婦人会は会員数の減少により、その組織率は泉町世帯数の二十％を割り、このまま推移すれば役員だけの婦人会になると述べられ、婦人会組織について大きな危機感をとり上げられた。

一体その原因はどこにあるのだろうか。その主たるものは長い間の婦人会自体の「事なかれ主義」にあることは勿論だが、一つには指導の立場にあった行政にあるのではなからうか。今の婦人会のあり方は、会費をはらって入るというエリート婦人会組織の遺物ではないだろうか。愛国婦人会、大日本婦人会という過去の郷愁から婦人会という名をとどめ、入会という形までも残している。現在の婦人会の活動状況から考え、何故個人で会費まで払って社会奉仕しなければならぬのか。この実態からして婦人会を社会教育団体として、そのまま引き継いで指導している行政のあり方が、婦人会を混乱におとしいれているのではないかと考えられる。

現在国からも、マスコミからも婦人という言葉は消えて、女性という言葉にかわっていきつつある。婦人と女性とは女で

あることにかわりはないが、考え方には根本的に大きな違いがあるのではないか。今の婦人会の実態は、社会教育団体でもなければ自治会組織の女性団体でもない。全く中途半端の組織であるため会員が減っていくのも無理からぬ事である。今こそ性格をはっきりすべきである。

改組の歩み

泉町では、平成五年八月当時の婦人会役員が、そして十二月には歴代婦人会長が公民館に集まり都市化傾向にあり、会員がどんどん減っていく泉町婦人会を如何にして建て直していくべきかについての座談会が熱心に行われた。

平成六年度頭初の実態は、会員数一七六名の減員となり、婦人会組織の

その結果、歴代婦人会長から異口同音に、旧来の婦人会のあり方から脱皮して、地域全女性が一人となり、自治会に立脚した女性部会として再出発していくことに考えがまとまった。そして自治会に協力を得るため、連合区長会にお願いせられた。しかし時期が年度末であり、来年度の自治会組織が殆ど出来ていた時期であり、又婦人会の事は婦人会でやるべきで自治会が介入すべきでないとの意見もあり、平成六年度へ送られた。

平成六年度頭初の実態は、会員数一七六名の減員となり、婦人会組織の

平成七年度の会員は一九二名で、自治会組織移行の町内会もあり、その会員増により、七三名の減員にとどまった。

平成八年度になり、未

組織地区の増加及び一方では自治会組織加入の増加で全体の会員数は余りなかつたが、地域

格差が甚しくなつて来た。この現状から、泉町連合区長会長は年度頭初の泉の自治だより（三六号）に「み

平成八年度（三六号）に「みんなでつくる地域社会の中での女性の活動の重要性から、婦人会組織の現状と対策をとり上げられ、婦人会への自治会からの提言と援助の必要性」を強調せられた。

この区長会長の提言により、各町内会へは、会長を始め各委員の努力により、町内の体育委員、青少年委員、交通安全委員と同じように、各町内会

で女性委員を選出して頂き、会員は全戸を対象にしているため、他団体と同じく町内会費で負担して頂くという二点をお願いした。泉町の町内会の中でこの主旨を理解され発足されたところもあり、又発足には至らなかつたが種々に協議して頂いたところもあり、今一歩

というところまで近づいたようであった。この制度が出来れば、地域社会（町内会）では女性委員が中心となってその町内の保健、衛生、環境、資源（廃品）、高齢化対策、教育等の領域を班長と共に協力して分担し、併せて趣味のグループ等への発展も考えて広い分野で地域社会の幸せのため活躍し、それが泉町へと組織化されて、泉町女性会として発展していくと考えられる。

新開等で報道されているように、日本国から婦人という言葉が消えて、女性という言葉にかわりつつある。地域社会の半数を占める女性団体の唯一の組織である婦人会が時勢の移りかわりと共に、名称も組織も共に変わっていくのも当然のことではなからうか。泉町での現在の婦人会の中途半端の行き方では、

他都市で婦人会が次々と消えていくように、亡くなりにはせぬか。一度消えたら再建は難しいだろう。平成五年にこの運動が始まってからもう五年すぎた。内部では自治会組織の出来てきたところもあるが平成九年こそは連合自治会が、婦人会とよく打合せ、はっきりと自治会に於ける女性組織をうちだし、統一発足すべき時が来たようである。そうすれば敬老会運営も現在のような変則的な形から脱却してうまく運営されていくであろう。女性団体の重要性に心がみ、行政の適切な指導により、婦人会役員各位の努力に期待し、自治会の深いご理解と協力を得て、新しい女性会の組織が平成九年度確立され、平成十年度から発足されることを願ってやまない。

泉町連合区のあゆみ

- 3月 30・泉消防団入退団式
- 4月 3・連合区長会
- 7・泉中入学式
- 7・焼津市・土岐市災害時応援協定調印式
- 8・泉小・泉西小入学式、泉幼児園式
- 8・土岐市自治連協総会
- 12・泉町連合区総会
- 13・泉町軟式野球開幕式
- 20・美濃陶祖例祭
- 22・花火大会実行委員会
- 26・連合区長会
- 5月 1・泉公民館運営審議会
- 8・泉町青少年育成実行委員会
- 9・市自治連協理事会
- 11・町内一斉清掃
- 市総体開会式
- 14・連合区三役会
- 17・連合区長会
- 18・泉町町民野球開会式
- 22・泉消防団訓練激励
- 23・助成団体代表者会議
- 24・公民館建設委員会
- 25・市消防操法大会
- 27・社会福祉協議会総会
- 28・交通安全協会総会
- 29・環境保全委員会
- 31・青少年育成町民会議
- 31・中根前館長送別会

地元の新聞 皆様の中日新聞

チラシで潤う家庭経済
明るい家庭に中日新聞

取扱新聞 中日新聞・中日スポーツ・日本経済新聞
中部経済新聞・証券新聞・工業新聞・英字新聞 他20種類

土岐市泉郷町3-35

中日新聞平岡新聞舗
TEL 55-2335

コスモガス
コスモ石油ガス株式会社

簡易ガス事業

泉北ガス株式会社

本社 55-3765
営業所 55-1819

泉小教育

地域ぐるみの教育を

校長 渡邊 隆

校下の皆様方には泉町の青少年は泉町の大人の手で指導して行こうというスローガンのもと御指導御支援を賜り誠にありがとうございます。

一、学校の現状

今年度は児童数八百二十一名、ブラジル・ペルー出身者十三名在籍、教職員三十六名、学級数二十五でスタートしております。児童数では土岐市内小中学校では一番の人数を誇っています。教職員の男女バランス・年齢構成につきましては適正な配置と考えています。

二、本校のねがい

児童教職員父母の夢は新校舎の建築です。ないが、授業学習施設環境が清潔心地よいトイレ、手洗場があつて、定形的なデザインをさようならして、児童が「素敵」と心をひかれる校舎です。そして二十一世紀の学校としてインテリジェントスクールを高度情報機能を備え、施設も高度情報化された。開かれた学び場として生涯学習の拠点となる建物を夢みています。地域教育情報センターとして社会教育学校教育が一体となって活動が推進される場をねがっています。

とです。人材登用の實際習で「魚の育ち方」を学的な整備をすすめたいです。本校が求める子供は、「自ら求め、学び続ける子供」です。この姿は、社会の変化に主体的に対応し、生きぬいていく姿であり、今、求められている「生きる力」そのものであると考えます。

「生きる力」は、単なる知識や理解の獲得に限らず、自分とのかかわりの中で考えたり、判断したりする力を含みます。「生きる力を重視すると、「自分」を核として、環境教育、情報教育、国際理解教育へと発展していきます。本校も、この考えに立ち、子供の「自分とのかかわり」を大切にした総合的な学習への取り組みも始めました。

「生きる力」は、単なる知識や理解の獲得に限らず、自分とのかかわりの中で考えたり、判断したりする力を含みます。「生きる力を重視すると、「自分」を核として、環境教育、情報教育、国際理解教育へと発展していきます。本校も、この考えに立ち、子供の「自分とのかかわり」を大切にした総合的な学習への取り組みも始めました。



泉の歴史シリーズ(31)

黎明

泉町の古墳は、土岐市史によれば四十二基あり土岐市の他地域に比し非常に多い。しかし今は十数基を残すのみで殆ど亡くなってしまった。

この古墳の中で特別に大きかったのが、乙塚古墳と三輪古墳であった。乙塚は国の指定文化財として既保存されている。三輪古墳は泉小学校の校庭の処にあり、明治の末期泉小小学校建築の際に壊され、其の後巨岩と築山のみが残されていたが今はそれも無い。乙塚は第十代崇神天皇の孫娘にあたる乙姫の古墳であると伝えられる。何故こんな高貴な方が、久々利の宮(可児市)から山坂越えて来られたのか、それはこの泉町に久々利の宮に匹敵する文化があり、豪族がいたと考えられる。その豪族の三輪氏に嫁いで来られたのではないか、そしてその墳墓がこの地方には珍しい大きな古墳として残されたのである。

それでは何故この地に乙姫を迎える程の豪族が住んでいたのか。それが今泉町の各地で発見された。ペトログラフにより解明されたような気がする。その詳細は前回報告された通りである。ペトログラフは約四・五千年前の縄紋式土器時代の遺物といわれている。この泉の地にはもうこの時代から、かくも立派な文化遺産を残した人たちが住んでおり、これが三輪氏の豪族につながったのではなからうか。

編集後記

今回は新役員の方々を紹介する紙面となりました。町内会組織の世帯数を表にしましたが、加入世帯と全世帯の間に差違が見られるが、それは未加入世帯数であり、町内会の組織率の問題のように思われます。

逆に加世帯が全世帯を上回っている町内会ではその町内に店舗及び事業所とか持ち家があつて町内会に加入しているものの住居は他の地区にあつて全世帯として実際の数値は少なくなっていると思われまふ。

尚、今年度より泉町連合区長会長の選出方法が変更になり、今まで連合区長会長は各区の区長の中から選出され兼任となつておりましたが本年からは新しく専任の連合区長会長の会長として田中重雄氏が就任されました。そして各区長はじめ町内会組織等の地域自治を通じて泉町のより良い町づくりに力を発揮して下さいことを期待しております。本紙面ではたびたび泉町婦人会のあり方を取り上げて来ましたが重要な女性団体として新しい形の組織を作つて行く事が単に婦人会の役員の方々の問題でなく私達町民すべての問題としてねばり強く変革へ向けて実現出来るように話し合い、考えてみようではありませんか。皆様方の御意見や原稿をどんどんお寄せ下さい。お待ちしております。

豊かな住まいづくりと暮らしをご提案！

カネヤマハウジング

〒509-51 土岐市泉森下町2
TEL (0572)54-3195(代) FAX (0572)54-8451

バッグ
化粧品のお店

マルヤス

TEL 55-2187